

成年後見センターネットワークニュースNo.6

令和7年1月 発行:士別地域成年後見センター



新年あけましておめでとうございます。今年の干支は巳です。巳年は「再生・成長」という意味があるそうです。変化する生活環境に柔軟に対応し、しなやかに成長する年になれば良いなと思います。皆様にとって良き1年になることをご祈念申し上げます。本年も宜しくお願いします。

市民後見人養成研修(R6年度)

本研修会は令和6年9月4日～10月16日の期間で7日間に渡り開催し、8人の方が受講しました。(士別市2人・和寒町2人・剣淵町3人・幌加内町1人)

研修は、北海道社会福祉協議会が主催する市民後見人養成講座を受講し、講義はオンライン(ウェブ会議)で実施し、参加者はそれぞれの会場で受講しました。



講義の内容は「認知症や障がい者の理解・民法の基礎・対人援助の基礎・成年後見の実務」等で、受講者はグループワークを通じて参加者同士の交流も図りつつ、受講していました。

今回で2回目の市民後見人養成研修となりました。現在20人程の方が養成研修を修了し、その内7人の方が市民後見人として地域で活動しています。

一緒に活動してみたい等興味がある方は、是非当センターにお問い合わせください。お待ちしております。(☎26-7500)



【修了式の様子】

市民後見人さん 紹介コーナー



【大居晴彦さん】

『市民後見人さん 5 人目のご紹介』

後見人等のお仕事などについて聞いてみました。

- ▶市民後見人として活動はいつからですか？
大居さん：令和6年6月からです。
- ▶どのような活動ですか？
大居さん：障がい者の方が生活しているグループホームでご本人と月1回面会してお話しをしています。
- ▶どのようなことに気を付けて支援していますか？
大居さん：何気ない会話から、ご本人の興味は何か、どのような生活がしたいか、お互いに壁を作らないように、何でも話せる関係を考えて支援しています。
- ▶最後にいつも元気で若々しいですね、秘訣は何ですか？
大居さん：気持ちだけは老け込まないように、ユーモアがある会話を心掛けているかな（下手の横好きで落語をしています）

出前講座のようす

市民後見人フォローアップ研修



学び舎三笠山(和寒町)



士別ロータリークラブ 例会

令和6年12月3日(火)に開催し、10人が参加しました。今回の講師は昨年に引き続き、司法書士法人いずみだ代表の泉田陽介氏を講師として「家族法」について講話をいただきました。

参加者からは、認知症で介護に不安がある場合の対応や、相続人がいない場合は誰に相談するのか等の質問が寄せられ、大変意義深い研修会となりました。